

全体結果 サンプル 調査全体 1,346名 平均点 26.0点/36点中 正答率 72.2% 全体 平均点 23.5点/30点中 正答率 78.5% 指導要領内 平均点 2.5点/6点中 正答率 41.0% 指導要領外

各設問結果

大問番号	問題番号	指導要領外	問題と正答	調査全体誤答			調査全体の主な誤答例 ( )は発生件数
				正答率	誤答率	無答率	
1	1		54÷4=13あまり2	85.7%	13.3%	1.0%	1あまり10(35)、11あまり10(20)
	2		719÷8=89あまり7	81.3%	16.1%	2.6%	87あまり3(21)、8あまり15(18)、88あまり5(16)
	3		920÷2=460	78.6%	17.8%	3.6%	46□(51)、46(20)
	4		803÷4=200あまり3	81.1%	14.5%	4.5%	20あまり3(45)、200(19)
	5		272÷4=68	88.0%	8.6%	3.4%	6あまり8(17)
	6		918÷3=306	73.2%	22.5%	4.3%	360あまり0(91)、36(46)、36□(31)
	7		499÷8=62あまり3	85.0%	11.1%	3.9%	5あまり59(14)
	8		692÷3=230あまり2	80.8%	13.4%	5.7%	23あまり2(16)、230(16)
	9		84÷6=14	87.6%	9.1%	3.3%	1あまり18(19)
	10		639÷3=213	81.9%	13.4%	4.8%	294(29)
	11		695÷2=347あまり1	78.3%	15.8%	5.9%	347(29)、342あまり11(19)
	12		540÷9=60	88.6%	6.5%	4.9%	6□(27)
2	1		3+12÷3=7	84.3%	12.6%	3.0%	5(108)
	2		17-4×3+8=13	65.4%	30.4%	4.2%	3(119)、47(58)、23(39)、143(35)
	3		(14+7)-12÷3=17	64.3%	31.9%	3.8%	3(187)、7(42)、25(40)、5(25)、18(17)
3	1		3.7+0.2=3.9	91.9%	6.1%	2.0%	3.5(37)
	2		4.3+0.7=5	93.1%	4.8%	2.2%	3.6(22)、50(16)
	3		3.7-2.9=0.8	75.7%	21.6%	2.7%	8(114)、6.6(59)、1.2(22)、0.6(21)
	4		23-1.8=21.2	39.6%	56.3%	4.1%	0.5(412)、5(107)、22.8(60)、22.2(28)、4.1(20)、1.5(19)
4	1		93÷13=7あまり2	77.9%	17.2%	5.0%	91(58)、70あまり2(22)
	2		248÷62=4	79.9%	14.0%	6.1%	44(63)、40(25)、40あまり8(15)
	3		498÷13=38あまり4	72.7%	18.8%	8.5%	432あまり2(17)
	4		735÷21=35	78.7%	12.6%	8.7%	367あまり1(14)
	5		74÷24=3あまり2	80.6%	13.3%	6.1%	33あまり2(32)、30あまり2(28)、31あまり10(16)
	6		69÷23=3	83.3%	10.7%	6.0%	33(54)、30(26)
	7		607÷32=18あまり31	68.9%	21.9%	9.2%	203あまり1(24)
	8		757÷63=12あまり1	77.0%	13.2%	9.7%	10あまり27(14)
	9		82÷27=3あまり1	78.0%	13.7%	8.2%	40あまり2(44)、30あまり1(25)
	10		158÷73=2あまり12	76.4%	13.3%	10.3%	26(38)、20あまり12(24)
	11		97÷21=4あまり13	77.3%	13.7%	9.0%	40あまり13(16)
5	1	●	2569÷12=214あまり1	57.7%	17.3%	25.0%	295あまり1(23)
	2	●	5369÷413=13	54.6%	11.2%	34.2%	12あまり313(6)
	3	●	213×47=10011	50.1%	32.3%	17.6%	261(25)、2343(22)
	4	●	37×525=19425	32.8%	39.9%	27.3%	2775(65)、19325(39)、595(30)、925(22)、15925(18)
	5	●	298×436=129928	21.9%	49.2%	28.9%	1118(29)、22648(23)、10728(23)、128928(18)、129828(18)
	6	●	403×708=285324	29.1%	40.8%	30.1%	31434(80)、2824(47)、33324(33)、3224(27)、6045(15)

〈指導要領内〉誤答率+無答率の高かったもの

順位	問題番号	問題と正答	誤答率+無答率 (誤答%、無答%)
1	3(4)	23-1.8=21.2	60.4%(56.3%、4.1%)
2	2(3)	(14+7)-12÷3=17	35.7%(31.9%、3.8%)
3	2(2)	17-4×3+8=13	34.6%(30.4%、4.2%)
4	4(7)	607÷32=18あまり31	31.1%(21.9%、9.2%)
5	4(3)	498÷13=38あまり4	27.3%(18.8%、8.5%)
6	1(6)	918÷3=306	26.8%(22.5%、4.3%)
7	3(3)	3.7-2.9=0.8	24.3%(21.6%、2.7%)
8	4(10)	158÷73=2あまり12	23.6%(13.3%、10.3%)
9	4(8)	757÷63=12あまり1	22.9%(13.2%、9.7%)
10	4(11)	97÷21=4あまり13	22.7%(13.7%、9.0%)

■誤答傾向

〈わり算の筆算〉

●誤答率+無答率がもっとも高かったのはわる数が2ケタで、計算途中でかけ算のくり上がりや、ひき算のくり下がりを含む問題であった。

〈整数の四則混合計算〉

●全誤答の約半数が計算する順序を守れずに誤答となるケース。なかでも、左から順に計算しての誤答がもっとも多い。

〈小数〉

●末尾の位が異なる計算が学習指導要領内での出題で、誤答率+無答率がもっとも高かった。小数点の存在を無視して、ひく数とひかれる数の両方の位をいちばん右側にそろえて、整数の計算と同様に筆算を行ってしまう誤答がもっとも多い。

〈指導要領外〉誤答率+無答率の高かったもの

順位	問題番号	問題と正答	誤答率+無答率 (誤答%、無答%)
1	5(5)	298×436=129928	78.1%(49.2%、28.9%)
2	5(6)	403×708=285324	70.9%(40.8%、30.1%)
3	5(4)	37×525=19425	67.2%(39.9%、27.3%)
4	5(3)	213×47=10011	49.9%(32.3%、17.6%)
5	5(2)	5369÷413=13	45.4%(11.2%、34.2%)

■誤答傾向

〈発展問題〉

●わり算の筆算よりもかけ算の筆算のほうが誤答率+無答率が高い。

●3年生で出題したかけ算の筆算の同一問題について正答率を比較すると、4年生が3年生よりもすべての設問で正答率が低い。

●かけ算のまちがえる箇所や、まちがいの頻度は3年生とほぼ同様。

分析と考察

〈わり算〉

わられる数のケタ数が増えると、正答率が下がる。わる数のケタ数が増えると、無答率が上がる。あまりが発生しない計算に比べて、あまりが発生する計算のほうが正答率が下がる。商に空位の0が発生する場合は正答率が下がる。途中計算でかけ算のくり上がりやひき算のくり下がりが発生すると、正答率が下がる。

〈整数の四則混合計算〉

「+」「-」よりも「×」「÷」の計算を優先させる乗除優先ができずに誤答となるケースが一番多い。しかし、4年生で学習する乗除優先以外にも、4年生以前に学習する計算のきまりを無視した計算を行ったり、乗除優先をまちがえて定着させ「×」「÷」を最後に計算するといったまちがいの見られる。

〈小数〉

もっとも誤答率+無答率が高かった問題は小数の単元からの出題だったが、もっとも誤答率+無答率が低かった問題も小数の単元からの出題であった。小数の計算では、小数点で位をそろえることを意識できずに、整数の計算と同様に計算しての誤答が多い。